

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,600	78.0

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	75.7
	書くこと	4	76.8
	読むこと	7	83.2
	言語事項	17	76.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	75.7
	書く能力	4	76.8
	読む能力	7	83.2
	言語についての知識・理解・技能	17	76.7
問題形式	選択式	16	78.9
	短答式	14	79.6
	記述式	2	59.6

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1ア	意味を考えて同音異義語を書く(開場)	文脈における意味を考えながら、同音異義語を使い分ける														75.7	5.9
1イ	意味を考えて同音異義語を書く(会場)																85.1
2一	話の特徴を説明したものととして適切なものを選択する	表現の仕方に注意して、聞き手に関心をもたせる話をする														92.8	0.1
2二	他の部への質問を聞き、自分の話に付け加える内容として適切なものを選択する	聞き手の反応を踏まえて、ふさわしい話題を選び出す														76.2	0.2
3一	「グラフ参照」という言葉を入れる箇所として適切なものを選択する	知らせたいことを相手に効果的に伝えるために、文章とその根拠となる図表との関係を明示する														92.5	0.3
3二	生徒会だよりの下書きの書き直し方として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、読み手にとって必要な情報を適切に伝える文章にする														85.7	0.3
4一	「花が欲しくなった」のは何をするためかが分かる言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える														90.3	4.1
4二	「見とがめられる」の意味として適切なものを選択する	文脈における語句の意味を的確に捉える														71.3	0.2
4三	「ひろってしまうのはいやだった」と感じた理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉え、登場人物の心情について考える														73.1	0.3
5一	書き直した文章の説明として適切なものを選択する	身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめる														63.3	0.5
5二	書き直した内容に合わせて他の部分を書き直す	書いた文章を読み返し、段落相互の関係を整える														65.4	7.1
6一	索引の特徴を説明したものととして適切なものを選択する	索引の特徴や役割を理解する														83.6	0.3
6二	索引のページから、調べたい事柄がより詳しく解説されているページを探す	索引を使って、必要な情報が本のどこにあるかを判断する														94.0	1.0
7一	話し合いでの発言について説明したものととして適切なものを選択する	相手の立場や考えを尊重し、目的に沿った話し合いになるように、適切な発言をする														80.3	0.6
7二	話し合いの方向を捉えた司会としての質問を書く	話し合いの方向を捉えて、的確に発言をする														53.7	15.8
8	行書を楷書で書く	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く														74.0	0.7

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,600	78.0

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	75.7
	書くこと	4	76.8
	読むこと	7	83.2
	言語事項	17	76.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	75.7
	書く能力	4	76.8
	読む能力	7	83.2
	言語についての知識・理解・技能	17	76.7
問題形式	選択式	16	78.9
	短答式	14	79.6
	記述式	2	59.6

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
9-1	漢字を書く(かぜをヨボウする)	文脈に即して漢字を正しく書く													81.1	11.1
9-2	漢字を書く(祭りの日程をケントウする)														28.3	31.9
9-3	漢字を書く(あいさつを力わす)														59.0	28.6
9-21	漢字を読む(筆に勢いがある)	文脈に即して漢字を正しく読む													91.8	2.0
9-22	漢字を読む(生産量が増える傾向にある)														84.9	5.3
9-23	漢字を読む(目上の人を敬う)														84.6	4.9
9-3ア	同音異義語から適切なものを選択する(シューベルトの名曲を鑑賞する)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う													84.1	0.6
9-3イ	適切な語句を選択する(旅行に備えて綿密な計画を立てる)														35.1	0.8
9-3ウ	適切な語句を選択する(いたづらをして、しかられても涙しい顔をしている)														91.6	0.7
9-3エ	適切な敬語を選択する(参観日には父が学校へ来ると申しておりました)														63.7	0.9
9-3オ	適切な語句を選択する(問題を解決するために知恵をしぼる)														91.4	1.1
9-3カ	適切な語句を選択する(彼は、困難な仕事をいとも簡単にやってのけた)														90.6	1.6
9-41	文にふさわしいように語句を活用させて書く(行く)		単語の類別や働きについて理解し、文の意味が通るように単語を活用させる													88.7
9-42	文にふさわしいように語句を活用させて書く(きれいだ)														93.5	1.9
9-51	「いかん」の現代語訳を抜き出す(どうなるか)	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える													82.9	4.7
9-52	「矛盾」という言葉の使い方として適切なものを選択する														87.0	0.9

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,572	62.4

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	
	書くこと	4	47.0
	読むこと	9	62.4
	言語事項	1	34.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	42.7
	話す・聞く能力	0	
	書く能力	4	47.0
	読む能力	9	62.4
	言語についての知識・理解・技能	1	34.8
問題形式	選択式	4	75.4
	短答式	2	65.8
	記述式	3	42.7

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1一	「ピクトグラム」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の内容を正確に捉える														93.2	0.2
1二	二つのトイレを示すピクトグラムの例を比べ、考えを簡潔に書く	書かれている情報を的確に関連付けて読み、考えを適切に書く														59.9	8.9
1三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するの理由とともに三文で書く	書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書く														34.8	12.8
2一	段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える														75.9	0.7
2二	比喩を用いた表現の内容として適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、文章の内容を的確に捉える														70.3	0.7
2三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q & Aの形式で紹介する	文章の内容を正確に捉え、提示された形式に合わせて適切に書く														42.4	22.0
3一	裏表紙の文章から分かることとして適切なものを選択する	文章の内容を正確に捉える														62.2	0.8
3二	裏表紙や帯や表紙に書かれている文章を手掛かりに、本を特定する	必要な情報を探し、関連させながら読む														71.7	3.9
3三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えを書く														51.0	12.2

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,569	54.7

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域	数と式	12	65.3
	図形	12	51.7
	数量関係	12	47.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	16	61.6
	数量、図形などについての知識・理解	20	49.1
問題形式	選択式	17	48.4
	短答式	19	60.3
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1(1)	$5/7 \times 3/4$ を計算する	分数の乗法の計算をすることができる										82.2	5.4
1(2)	四則計算のうち、数が自然数の範囲では閉じておらず、整数の範囲では閉じている計算を選ぶ	数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることを理解している										48.7	0.7
1(3)	絶対値が5である負の数を書く	正の数と負の数の範囲で絶対値の意味を理解している										80.7	9.1
1(4)	$3 - 2 \times (-4)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算をすることができる										74.2	2.9
2(1)	$(4a - 6) - 2(a - 3)$ を計算する	整式の加法と減法の計算をすることができる										80.0	5.6
2(2)	連続する3つの自然数のうち、最も小さい自然数を n とすると、その連続する3つの自然数をそれぞれ m を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる										66.4	14.2
2(3)	青色のテープの長さ a cmは、黄色のテープの長さ b cmの何倍であるかを、 a, b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる										38.4	21.6
2(4)	$3x + y = 7$ を y について解く	ある文字について解くことの意味を理解し、等式を目的に応じて変形することができる										65.1	16.7
3(1)	$0.1x + 1 = 1.5$ を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる										72.6	12.6
3(2)	2通りに表される数量を文字を用いた式で表し、一次方程式をつくる	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一次方程式をつくることができる										47.8	10.7
3(3)	連立方程式 $\begin{cases} x + y = 4 \\ 3x + 2y = 9 \end{cases}$ の解について正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している										62.1	1.6
3(4)	連立方程式 $\begin{cases} y = 2x - 1 \\ y = x + 3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる										65.6	12.2
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	垂線の作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことができる										53.3	1.4
4(2)	正三角形OACを、点Cを中心として時計回りに回転移動して正三角形BECにぴったり重ねたとき、その角度を求める	回転移動の意味を理解している										30.1	7.2
5(1)	直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺をすべて書く	空間における直線と直線との位置関係を理解している										48.1	9.0
5(2)	底面が平行四辺形である高さ10cmの四角柱の底面積と体積を求める	四角柱の底面積と体積を求めることができる										32.0	21.3
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	与えられた投影図から空間図形を読み取ることができる										84.1	0.7
5(4)	球と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している										41.8	1.0

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,569	54.7

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域	数と式	12	65.3
	図形	12	51.7
	数量関係	12	47.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	16	61.6
	数量、図形などについての知識・理解	20	49.1
問題形式	選択式	17	48.4
	短答式	19	60.3
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
6(1)	平行線の錯角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している										84.7	4.4
6(2)	五角形の内角の和と六角形の内角の和について、正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している										61.5	1.4
6(3)	合同な2つの三角形の対応する角の大きさを求める	合同な三角形の対応する角の大きさを求めることができる										73.5	5.3
7(1)	証明で用いられている合同条件を選ぶ	証明を読み、用いられている三角形の合同条件を理解している										57.6	1.0
7(2)	長さの等しい2本の棒を2種類使って組み合わせた四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している										27.2	1.1
8	三角形の外角の和が360°であることの証明について正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している										26.1	1.6
9	定形外郵便物の料金表から、重量と料金の関係について、正しい記述を選ぶ	関数関係の意味を理解している			1							28.1	1.6
10(1)	比例 $y = -3x$ のグラフを選ぶ	比例の式とグラフの関係を理解している										63.1	1.5
10(2)	比例 $y = -2x$ のグラフをかくために、原点以外の点の座標を求める	比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点のx座標とy座標の値の組を求めることができる										45.8	22.0
10(3)	反比例 $y = 4/x$ のグラフを完成する	反比例のグラフをかくことができる										72.2	12.5
11(1)	「高さが高くなるのにともなって、気温が一定の割合で下がる」と考えたとき、高さ気温の関係を表したグラフを選ぶ	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘できる										61.6	2.1
11(2)	一次関数 $y = 4x - 3$ について、xの係数が4であることからいえることとして、正しいものを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ のaが、xが1増加したときのyの増加量を表していることを理解している										49.8	2.5
11(3)	一次関数の表から式を求める	一次関数の表から、xとyの関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる										37.5	23.8
11(4)	比例 $y = 2x$ のグラフを基に $y = 2x - 4$ のグラフをかく方法として、正しい記述を選ぶ	比例のグラフと一次関数のグラフの関係を理解している										45.7	3.4
12	$V = RI$ を基に、電圧Vが一定のとき、抵抗Rと電流Iの関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が反比例であることを判断できる										24.7	3.6
13(1)	2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	事象の起こる確率を求めることができる										48.4	21.5
13(2)	生徒35人が100点満点の試験を受け、得点の中央値が50点だったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	中央値の意味を理解している										26.8	4.0
13(3)	ある月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムについて、正しいものを選ぶ	目的に応じてヒストグラムから資料の傾向を読み取ることができる										61.1	4.0

1 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「関数」の領域の内容となる。
 2 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)
北海道	29,552	47.4

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域	数と式	3	62.1
	図形	6	45.9
	数量関係	6	41.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	13	46.8
	数学的な表現・処理	1	72.9
	数量、図形などについての知識・理解	1	29.5
問題形式	選択式	6	49.8
	短答式	4	57.1
	記述式	5	36.7

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	1月のキャップの回収量を比べて、平成22年度は平成21年度より何個増えたかを選ぶ	グラフから必要な情報を読み取ることができる											72.9	0.4
1(2)	キャップの入った回収箱の重さが分かっているとき、キャップの個数を求めるために調べるものを選び、それを求める方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる											37.9	3.8
1(3)	キャップの個数とキャップの入った回収箱の重さの関係について、正しい記述を選ぶ	問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することができる											36.1	0.8
2(1)	連続する3つの自然数が11, 12, 13のとき、それらの和が中央の自然数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる											69.7	10.9
2(2)	説明を読み、 $3n+3$ を $3(n+1)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる											62.0	11.8
2(3)	連続する5つの自然数の和が中央の自然数の5倍になることを説明する	発展的に考えて説明することができる											54.5	20.9
3(1)	タレスの方法を読み、点Aから船Bまでの距離を何に置き換えて測ればよいかを答える	事象を数量や図形に着目して観察し、その特徴を的確に捉えることができる											67.0	13.2
3(2)	2つの三角形が合同になることを証明するための根拠となる事柄を説明する	事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる											32.4	35.0
3(3)	タレスの方法を発展するための考えとして、正しい記述を選ぶ	問題解決の方法を振り返って考え、発展的に考えることができる											41.5	1.4
4(1)	証明を読み、証明の「仮定」に当たる事柄を選ぶ	証明で用いられている根拠となる事柄を明確に捉えることができる											53.5	1.1
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、二等辺三角形を利用して証明する	与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明することができる											33.7	38.3
4(3)	証明した2組の線分の長さがそれぞれ等しいことを根拠として、証明したこと以外に新しく分かることを選ぶ	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる											47.2	1.7
5(1)	2人の球速の範囲をそれぞれ求める	範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ることができる											29.5	17.8
5(2)	ヒストグラムの特徴を基に、時速131kmの球速に的を絞って練習することが適切でない理由を説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる											25.2	41.9
5(3)	2人の投手の直球だけのヒストグラムを比べて読み取れることを選ぶ	資料の傾向を的確に捉えることができる											47.7	1.5

中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。